

岩手県のだちょう(エミュー)飼育施設で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (国内24例目)

【概要】

- ・岩手県一関市 だちょう(エミュー) 10羽
- ・簡易検査および遺伝子検査で陽性。
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<生産者の皆様へ>

- ※5月になっても発生が止まりません。
- ※鶏インフルエンザの発生リスクは小規模農場も例外ではありません。
生産者の皆さんはくれぐれもご注意下さい。
- ・ウイルスは人の都合に合わせてくれず、
農場は常に侵入リスクを抱えています。
- ・養鶏農場においては、環境中にウイルスが存在する前提で
飼養衛生管理基準の再徹底を図ってください。

- ①家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認
- ②ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した
農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底
- ③農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

※飼養衛生管理状況の点検を行うとともに、
家きんの特定症状(1日の死亡率が過去3週間の平均の2倍以上)、
疑われる症状(鶏冠・肉垂のチアノーゼ等)を念頭に健康観察を実施し、
早期発見・早期通報の徹底をお願いします。

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018